

経膈分娩をされる方へ

患者氏名: 様 (ID:)

項目	入院時から分娩まで		分娩から分娩当日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目頃
	月	日	月	月	月	月	月	月
進 成	患者状態	分娩の準備が整っている		分娩後、異常なく経過できる		育児が習得できる		
	活動・安静			分娩後2時間より歩行できる				
	教育・説明	分娩の経過がわかる		育児に必要な知識を習得できる				
治療 処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 陣痛の状態と赤ちゃんの状態を見るためモニターをとります 《分娩室に入ったら》 モニターをとります 血管確保をします 必要時除毛をします 破水していれば感染予防の注射を定期的に行います 分娩室に入ったら血管確保のため糖分の入った点滴をします 陣痛のこない方や弱い方は子宮収縮促進剤の点滴をする事があります 		<p>《赤ちゃんとの御対面》</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんが生まれたら抱っこします 可能ならおっぱいを吸わせませす 分娩は頻回に体温・血圧・脈拍を測りパットを交換します お乳がよくできるように乳頭の手入れをしていきます 異常なければ血管確保の針を抜きます トイレに行きます この時に尿が出なければ管を入れて尿をとることもあります 分娩後、感染を予防する薬を飲みます 		<ul style="list-style-type: none"> 適宜、血圧を測ります 分娩後一度も便が出ていなければ産前下剤を飲みましょう お産後一度も便が出ていなければ坐薬を使って便を出します 		<ul style="list-style-type: none"> 内診室で診察します(場合により抜糸)(結果で退院決定) 退院日の朝体重と血圧を測ります 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 破水しているときは入院時及び、適宜追加で血液の検査をします 児の先天性代謝異常検査申込書をお預かりします 							
安静度 (活動)	<ul style="list-style-type: none"> 分娩室に入るまで病棟内は自由に歩けます おっぱいのお手入れをしておきましょう 		分娩後2時間を目安に分娩室で休みます					
栄養 (食事)	<ul style="list-style-type: none"> 産科食 合併症のある方は制限食になります 							
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 破水していなければ入浴できます 破水している時はシャワーは入れます 		分娩後に体をスタッフが拭かせていただきます		<ul style="list-style-type: none"> シャワーができます 陰部をきれいにしましょう 			
排泄			定期的にナブキンを交換し、陰部を清潔に保ちましょう					
教育 説明 指導	<ul style="list-style-type: none"> 陣痛がきたら呼吸法やリラクセス法で乗りきりましょう 分娩第1期は楽な姿勢で過ごしましょう 分娩の進行状態によっては、帝王切開になることもあります 手術などの治療内容については別にお渡しする「(手術・検査・処置・麻酔)説明書」をご覧ください 		<ul style="list-style-type: none"> 病室に帰ってからは適宜パットを交換します 臍帯がお手元にあるか確認します 赤ちゃんの耳の検査(a-ABR)の対象の方は同意書を作成します 		<ul style="list-style-type: none"> (母児同室でない場合)NICU・GCUで赤ちゃんに面会できます ※感染症対策のために、面会者、面会方法に制限があります ※授乳の開始はスタッフがお知らせします 授乳は自律授乳あるいは母児同室でない場合3時間毎授乳です 授乳がお休みの時おっぱいがはっていたら搾乳しましょう(詳しくは授乳についてのパンフレットを用いて説明します) おっぱいが張ってきたら間食は控え目にしましょう 退院までに産後の生活について説明を聞きましょう 			

注1. 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものである。

注2. 入院期間については現時点で予想されるものである。

姫路赤十字病院 産婦人科

2001年4月 作成

2020年12月 改訂